

令和3年度第3回横浜市創造界限形成推進委員会会議録	
日 時	令和3年11月24日（水）14時00分～16時00分
開催場所	横浜市役所WEB会議（事務局設置：横浜市役所 18階共用会議室 みなと10）
出席者	野原委員長、六川副委員長、遠藤委員、岡本委員、菅野委員、治田委員、簗谷委員、山口委員
欠席者	日沼委員
オブザーバー	恵良氏
開催形態	一部非公開
議 題	<p>1 審議事項</p> <p>(1) 旧老松会館の公募結果について</p> <p>(2) 旧第一銀行横浜支店の公募について</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 拠点運営の全体的な方向性についての市の考え</p> <p>(2) 令和4年度以降の事業評価について</p> <p>3 その他</p>
決定事項	
事務局	<p>【開会】</p> <p>○令和3年度第3回横浜市創造界限形成推進委員会を開催する。</p> <p>【資料の確認】</p> <p>○配付資料の確認が行われた。</p> <p>【定足数の確認】</p> <p>○委員9名中8名が出席しており、委員会の成立となる。</p> <p>【会議の公開・非公開】</p> <p>○本会議は横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条により原則公開となるが、審議事項(1)及び(2)については、同条例第7条第2項に基づき非公開とするが、よろしいか。</p> <p style="text-align: center;">（了承）</p> <p>審議事項（1）：旧老松会館の公募結果について</p> <p><事務局より説明が行われ、議題について審議が行われた。></p> <p>審議事項（2）：旧第一銀行横浜支店の公募について</p> <p><事務局より説明が行われ、議題について審議が行われた。></p> <p>報告事項（1）：拠点運営の全体的な方向性についての市の考え</p> <p><事務局より説明が行われ、議題について意見交換が行われた。></p>

<p>恵良氏</p>	<p>○創造界限拠点が増えつつある一方で、担い手の集積も進んできました。その結果として、自律的に発生してきた新たな活動する拠点が創造界限に生まれています。こうした動きをどう認識して整理するかということ、現行の6つの拠点とともに考えることが重要になると思います。また、企業やクリエイターの集合の中、そして大学の中にも拠点的な活動が生まれて来ることも頭に置いて考えるべきでしょう。また、現行の創造界限拠点は、この時期に改めて場所の価値を再確認する必要があります。同時に、建物の老朽化が進んでいる拠点もあり、活動に対する建物や内部空間の適性などを踏まえた今後のあり方が論じられると良いと思います。ACYの活動も考えますと、新旧の都心という大きなフィールドの中で、何が創造界限拠点と新たに自律してきた拠点的な活動をACYにつなげることが効果的かを見ていくことも大切と感じています。そうすると、多分、拠点の場所の再構成やネットワーク構築の議論、創造都市の支え手のつくり方、これらを同時に解くことが創造界限拠点のこれからのあり方の可能性を広げることにつながると感じています。</p>
<p>菅野委員</p>	<p>○創造界限を考えるに当たって、今はもう完全に第2段階に移行していると思っています。最近ではカルチュラルキャピタルという言い方もしているんですけども、あるいはカルチュラルリソースというべきか、横浜市全体の文化的なポテンシャルというものがあるに上がってきているということは、誰もが外からも見て分かっていると思います。そういったことも留意した上で、改めてこの創造界限の位置づけというものを再検討していかないと、次の方向性はなかなか見えにくいのではないかと思います。むしろ、いろいろな可能性が高まっているところに、それをプラスの要因として取り入れていった上で考えていかないと、これからの世の中にはついていけないということが起きてくるのではないかと思います。</p>
<p>治田委員</p>	<p>○今の拠点に関して、運営事業者それぞれが持っているものを最大限活用して拠点を運営しようとしている一方で、規制とか決まっている枠組みでやってくださいという中でかなり苦戦している部分も見えますので、行政側としてできることもいろいろあるのではないかと思います。そのあたりももう少し議論できるといいのかなと思いました。あとは、こういう方向性なのではないかというものが、委員それぞれの考えもあるので、皆さんで共通の言語化をしたほうがいいものについては、考えていきたいなと思いました。一方で、稼ぐところは稼いで、公益的な文化をどう維持していくかというところがあって、そこがまだちょっと理念的かなど。それから、行政としての指標は、専門分野が分かっている人たちからの評価のほか、市民性のある評価があるため、そこが評価として入ってくるといいのかなと思いました。</p>

	<p>野原委員長</p> <p>遠藤委員</p> <p>事務局</p> <p>野原委員長</p> <p>事務局</p>	<p>○ルールに関しては、例えば文化財の話というのは、むしろ横浜の大事な資産をちゃんと守るためのルールでもあるので、何を大事にして、何の価値をちゃんと大切にしながらそれを使っていくかというところだと思います。できること、できないことを洗い出していくと、できることはまだあるのではないかということだと思いますので、そこはぜひ検討していただきたいと思います。</p> <p>○まず方向性としては、創造界限全体も含めて少し検討いただいて、その中で拠点はどう立ち居振る舞っていくか、そういったところを併せて検討いただくということなのではないかなと思っていますので、そのあたりも含めた整理をお願いできると助かります。</p> <p>報告事項（２）：令和４年度以降の事業評価について</p> <p><事務局より説明が行われ、議題について意見交換が行われた。></p> <p>○評価と次の年度の計画をリンクさせるというのは、やっぱり大事なポイントだと思うんです。具体的な作業として考えたときに、事業評価と事業計画を同時に作ると作業量が多くなってしまうのでということが危惧されるため、何か工夫が必要かなということを感じています。</p> <p>○現在も各拠点が年度の振り返り報告をしていますので、基本的にはその内容が反映されるものと考えています。作業量については、調整しながら進めさせていただきたいなと思っております。</p> <p>○これで報告事項は以上になる。</p> <p><事務局から議事録の確認依頼や今後のスケジュールなどについて、事務連絡が行われた。></p> <p>○これをもって、令和３年度第３回横浜市創造界限形成推進委員会を終了する。委員の皆様、長時間ありがとうございました。</p>
<p>資 料</p>	<p>①次第</p> <p>②〔資料１〕委員名簿</p> <p>③〔資料２〕前回議事録（令和３年９月２２日開催分）</p> <p>④〔資料３〕旧老松会館（急な坂スタジオ）運営事業者選考報告書</p> <p>⑤〔資料４〕旧第一銀行横浜支店の公募について</p> <p>⑥〔資料５〕拠点の方向性について</p> <p>⑦〔資料６〕令和４年度以降の事業評価について</p>	
<p>特記事項</p>		